

令和4年度 事業報告書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

社会福祉法人海部連福祉会

令和4年度 事業報告書

(自) 令和 4年 4月 1日
 (至) 令和 5年 3月 31日

社会福祉法人海部連福祉会

1 法人の概要

主たる事業所の所在地 愛知県愛西市給父町北部24番地	電話番号 (0567)37-3338	代表者氏名 理事長 土方君春
法人認可年月日 平成12年6月13日	法人認可番号 12令障援第144-3号	設立登記年月日 平成12年6月16日

2 法人の行う事業

事 業 の 種 類	施 設 種 別	名 称	管理 者	定 員	職員数
社会福祉事業 第二種 社会福祉事業	障害福祉サービス事業 生活介護	虹の里八開	位田泰一	30名	25名
	短期入所	虹の里八開	林秀臣	2名	兼務
	共同生活援助	虹	位田泰一	6名	13名
	短期入所	虹	位田泰一	2名	兼務
公 益 事 業	日中一時支援事業の 受託	虹の里八開	位田泰一	空床型	兼務
収 益 事 業	該当なし				

3 役員等の状況

役 職	氏 名	就 任 年 月 日	備 考	役 職	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
理事長	土方 君春	令和3年 6月24日		理 事	竹田 守節	令和3年 6月24日	
理 事	立松 啓子	令和3年 6月24日	"	岡屋 智子	令和3年 6月24日		
"	浅井 晴美	令和3年 6月24日		監 事	沢田 一郎	令和3年 6月24日	
"	位田 泰一	令和3年 6月24日		"	加藤 憲治	令和3年 6月24日	

役職	氏名	就任年月日	備考	役職	氏名	就任年月日	備考
評議員	森 文雄	令和3年 6月24日		評議員	甲斐 裕二	令和3年 6月24日	
〃	鷲野 聰明	令和3年 6月24日		〃	三輪 好一	令和3年 6月24日	
〃	神納 信子	令和3年 6月24日		〃	服部 安里	令和3年 6月24日	
〃	中野 義光	令和3年 6月24日					

役職	氏名	就任年月日
苦情解決第三者委員	沢田 一郎	令和3年10月 1日
	大脇 英樹	令和3年10月 1日

4 理事会・評議員会・監事會開催状況

(1) 理事会

開催年月日	議事内容
令和 4年 6月 8日	決議事項 1 令和3年度事業報告について 2 令和3年度法人会計計算書類について 3 入浴用電動ストレッチャーの購入について 4 評議員会の開催について その他報告事項等
令和 4年 12月 9日	決議事項 1 令和4年度法人会計第1次補正予算について 2 送迎車両の廃車と購入について 3 評議員会の開催について その他報告事項等
令和 5年 3月 17日 (書面決議)	決議事項 1 令和4年度法人会計第2次補正予算について 2 令和5年度事業計画について 3 令和5年度法人会計予算について 4 評議員会の開催について その他報告事項等

(2) 評議員会

開 催 年 月 日	議 事 内 容
令和 4年 6月 23日	決議事項 1 令和3年度事業報告について 2 令和3年度法人会計計算書類について 3 入浴用電動ストレッチャーの購入について その他報告事項等
令和 4年 12月 16日	決議事項 1 令和4年度法人会計第1次補正予算について 2 送迎車両の廃車と購入について その他報告事項等
令和 5年 3月 28日	決議事項 1 令和4年度法人会計第2次補正予算について 2 令和5年度事業計画について 3 令和5年度法人会計予算について その他報告事項等

(3) 監事会

開 催 年 月 日	議 事 内 容
令和 4年 5月 20日	令和3年度 決算・法人業務監査

5 施設運営の状況

◇虹の里八開（生活介護）

定員 30名

施 設 運 営	年度方針	新型コロナウイルス感染症の対応は、前年度に引き続きマニュアルを基に徹底した感染防止対策を行うとともに、必要時は関係機関と連絡を図り、適切に対応していく。 「虐待防止対応規程」に基づき、全職員に対し、定期的に自己点検チェックを実施し、職員に障がいのある方の人権擁護を促すとともに、虐待防止・身体拘束適正化検討委員会を開催し、虐待防止のための啓発活動の努める。
	実施状況	新型コロナウイルス感染拡大防止として、マスク着用や検温、消毒、換気などを引き続き行った。 人材育成に関しては、年間研修計画に基づき、施設内研修を毎月行った。虐待防止の対応については、共通認識がもてるよう全職員に対して研修を行った。虐待までいかないが不適切な支援を職員も気付かぬうちにに行っている場面がみられ、人権擁護の意識を他かけていく必要がある。
利用者支援	年度方針	利用者の尊厳を守り、また人権擁護の取り組みとして、個々の利用者の障害特性の理解を深め、活動や日常生活の場面において個別対応性を高めた支援を行う。また、ヒヤリハットの報告を増やすことにより、リスクマネジメントに対する意識を高める。
	実施状況	人権擁護、虐待防止については、充分な検討ができておらず、通報義務についての理解も浸透していない。ヒヤリハットの報告についても、意識的に行うことができなかつた。

行事等の実施状況（全体）

年 月 日	行事等の名称	区分	内 容
令和4年4月 1日	バスドライブ（花見）	療育	ライオン（天王川公園）
6・13・20日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
7日	散歩	療育	パンダ（虹の里八開周辺）
21日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
25日	体重測定	健康	利用者全員
28日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う パインケーキ
5月 11・18・26日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
12日	避難訓練	防災	利用者全員参加
19日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
23日	体重測定	健康	利用者全員参加
27日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う ココアケーキ
6月 8・15・22日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
16日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
24日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う 和風ケーキ
27日	体重測定	健康	利用者全員
7月 7日	七夕会	行事	3グループ合同
13・20・27日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ

13日	バスドライブ（蓮）	療育	パンダ（立田赤蓮保存田）
15日	バスドライブ（蓮）	療育	ライオン（立田赤蓮保存田）
21日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
25日	体重測定	健康	利用者全員
29日	誕生日会 お菓子作り	療育	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う 豆腐とチョコのケーキ
8月 3・17・24日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
12日	スイカ割り・夏祭り	行事	利用者全員参加
19日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う りんごケーキ
22・23・26日	健康診断	健康	利用者全員（愛西市八開診療所）
22日	体重測定	健康	利用者全員
25日	読み聞かせ	療育	利用者全員
9月 7・14・21日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
9日	避難訓練	防災	利用者全員参加
22日	読み聞かせ	療育	利用者全員
26日	体重測定	健康	利用者全員
30日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う 豆乳とベリージャムのケーキ
10月 2日	愛西市八開地区市民体育大会	行事	利用者12名参加
5・19・26日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ

11・12・13・14 日	芋掘り	行事	理事長所有サツマイモ畠 グループ別で参加
20日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
21日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う りんごケーキ
24日	体重測定	健康	利用者全員参加
11月 2・9・30日	音楽療法	行事	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
17日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
22日	レインボーツアー	行事	施設内イベント 利用者30名参加
24日	インフルエンザ予防接種	健康	七宝病院往診
24日	歯科検診	健康	しのだ歯科医院往診
25日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う ココアケーキ
28日	体重測定	健康	利用者全員
12月 1・2・5・6・7日	みかん狩り	行事	大川みかん農園にグループ別で参加
7・21日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
15日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
16日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う パイナップルケーキ
23日	クリスマス会	行事	利用者28名参加
26日	体重測定	健康	利用者全員
28日	忘年会	行事	利用者全員

令和5年1月			
	6日	成人を祝う会	行事 新成人2名
11・18・25日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
16・17・18日	初詣	行事	3グループに分かれて参加
19日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
20日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う チョコバナナケーキ
30日	体重測定	健康	利用者全員
2月			
	3日	節分（豆まき）	行事 利用者全員参加
8・15・22日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
16日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
16日	避難訓練	防災	利用者全員参加
24日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う 黒豆きな粉ケーキ
27日	体重測定	健康	利用者全員
3月			
1・8・22日	音楽療法	療育	音楽療法士による音楽療法 各グループに分かれて音楽を楽しむ
16日	読み聞かせ	療育	ボランティアによる本の読み聞かせ
24日	誕生日会 お菓子作り	行事	誕生日の利用者を利用者と職員で祝う 豆乳とイチゴのケーキ
27日	体重測定	健康	利用者全員
31日	お楽しみ会	療育	利用者全員参加

[グループ活動状況]

ライオングループ

前年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出する機会は少なかったが、散歩や施設内でのイベントを増やし、季節を感じ外出した気分になっていただけるような活動を行った。創作や生産活動では、自己決定・自己選択の場面を設け、利用者さんが目的や目標をもって活動に取り組み、できる限り自分で行ってもらうことにより、作業や活動に対する達成感を得られるよう個々のペースに合わせて支援を行った。体力や身体機能の維持を図るため、楽しんで体を動かせるよう定期的にリズム体操やトランポリンなどの活動を取り入れた。

パンダグループ

多動傾向であり、活動に対して興味や関心が薄く、意思疎通を図ることが難しいグループであり、個々の特性を考慮しながら活動を行った。軽作業では、落ち着いて作業できる内容や環境をつくり職員が手伝いながら取り組んだ。創作活動では、個人のアルバムや季節に沿った作品づくりを行い、利用者本人の動作を取り入れながら、職員がいろいろな選択肢を提示していき作品を完成させていく。職員と一緒に作業をするなかで、声掛けを行い楽しんでもらえるよう配慮した。運動やレクリエーションでは、周囲とのコミュニケーションやその場の雰囲気を楽しんでいただくことを大切にしながら身体を動かしてもらい、身体的な機能の維持や体力低下の予防に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響で、外出する機会は減ったが、感染予防対策を図り、散歩や施設内のイベントを楽しんでもらうことができた。

イルカグループ

在籍人数が少ないため、他グループと一緒に活動を行うことが多く、活動では本人のペースを尊重し、表情や身体の動き、視線などを関わりのなかで確認しながら、できる限り利用者さんの意思に添えるような環境づくりや支援を行った。活動のなかで職員と一緒に動作を行うことで、楽しさを感じてもらいながら少しでも自分で身体を動かしてもらえるよう、ひとつひとつの作業にゆっくりと時間をかけて促した。どの活動においても利用者様の負担にならないよう適宜休憩を入れ、体調の変化に注意した。

[施設内・外での事故とその対応]

日時	事故の内容	対応
令和4年7月9日	ボールを使った活動中、両手でボールを受け止めた後、顔をしかめ指を気にする様子がみられた。職員が指を確認したところ腫れや痣は確認されず、その後痛みの訴えもなかったため、塗り薬を塗布し様子をみる。保護者に状況を伝え、経過観察をお願いした。帰宅後、右手小指に腫れがみられ、受診したところ骨折していたことが判明した。	当該利用者様は痛みに鈍感であったり、うまく伝えることが難しく、より慎重に本人の様子の変化に気付けるよう経過を観察していく必要がある。また、痛みの訴えが続く場合や外傷が確認されたときには、必要に応じて病院に受診するといった対応を行う。
令和4年11月10日	トイレ休憩中、他利用者をひつかいでしまう。職員が数名近くにいたが、他の利用者様の水分補給やトイレ誘導をしており、近づいて行ったことに気付かず、止めに入ることができなかった。	他害をしてしまった利用者様はひとりでいると不安な気持ちになりやすく、今までにも近くにいた利用者様を叩いてしまったことが何度かあった。職員が側にいられなくとも、様子を確認していき、離れた場所からでも声をかけて安心感をもって対応していく。

[施設内研修]

日 時	研修会・研究大会等の名称	研 修 内 容	参加職員
令和4年 4月25日	障がい者虐待防止研修	1 虐待防止・身体拘束適正化の取り組みについて 2 障害者虐待防止法の理解と対応 3 「職員倫理綱領」「行動規範」の説明	21名
5月30日	ハラスメントの理解と防止について	1 なぜハラスメント対策が重要なのか 2 職場におけるパワーハラスメントとは 3 職場におけるパワーハラスメントの内容 4 禁止行為について	18名
7月8日	知的障害について	1 知的障害とは 2 知的障害の診断や重症度、特徴 3 支援のポイント 4 まとめ	6名
8月1日	身体障害について	1 身体障害とは 2 身体障害の特徴 3 「障害がある」ということをどう考えたらよいのか 4 重症心身障害児者との関わり方について 5 支援について 6 まとめ	10名
9月5日	摂食・嚥下障害について	1 摂食・嚥下とは 2 摂食・嚥下の段階について 3 摂食・嚥下障害による問題 4 摂食・嚥下障害を防ぐためにできること 5 利用者さんの食事形態と特徴 6 まとめ	10名
9月26日	意思決定支援について	1 意思決定支援の定義 2 意思決定支援を構成する要素 3 意思決定支援の原則	9名
10月25日	意思伝達が苦手な利用者のアセスメントと評価について	1 アセスメントの重要性 2 エンパワメント 3 支援方法 4 介護現場によるヒヤリハット事例 5 実際に分析して解決策を考えてみよう	11名
11月28日	感染症対策	1 感染対策の原則 2 正しい手洗い 3 咳エチケット 4 インフルエンザ対策 5 ノロウイルス対策 6 新型コロナウイルス対策	9名
12月26日	強度行動障害とは	1 強度行動障害とは 2 強度行動障害の状態 3 なぜ強度行動障害があらわれるのか 4 伝えられないもどかしさの体験 5 強度行動障害のある人は「困っている人」	10名

令和5年 1月30日	障害者支援の理念について	1 障害者支援法の理解 2 障害者の権利擁護と尊厳 3 障害者虐待防止法の理解	8名
2月27日	メンタルヘルス研修	1 メンタルヘルスとは 2 メンタルヘルスの不調はなぜ問題なのか 3 ストレスマネジメント 4 コーピング 5まとめ	9名
3月28日	自分も相手もリスペクト	1 アサーティブコミュニケーションとは 2 アサーティブコミュニケーションの実践 で重要な4つのポイント 3 自己主張の方法	10名

[外部研修会・外部研究大会の参加状況]

日 時	研修会・研究大会等の名称	主 催 者	参加職員
令和4年 5月25日	愛西市障害者地域総合支援協議会	愛西市障害者地域総合支援協議会 地域生活支援部会	1名
7月11日	わかりやすい虐待防止研修	愛知県知的障害者福祉協会	1名
7月12日	サービス管理責任者更新研修	愛知県障害福祉課	1名
7月27日	愛西市障害者地域総合支援協議会	愛西市障害者地域総合支援協議会 地域生活支援部会	1名
10月19日	安全運転管理者等講習	公益法人愛知県安全運転管理者協議会	1名
10月25日	愛西市障害者地域総合支援協議会	愛西市障害者地域総合支援協議会 地域生活支援部会	1名
11月16日	スーパービジョン研修	愛知県知社会福祉協議会	1名
11月30日	困難事例対応研修	愛知県知的障害者福祉協会	1名
12月16日	意思決定支援研修	愛知県知的障害者福祉協会	1名
12月19日	愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修	愛知県知的障害者福祉協会	1名
令和5年 3月6日	愛西市障害者地域総合支援協議会	愛西市障害者地域総合支援協議会 地域生活支援部会	1名

◇虹（共同生活援助）

定員 6名

施設運営	年度方針	日中の生活の場である虹の里八開と連携を図り、利用者の生活が豊かなものなるよう努める。また、必要な人員の確保にも努め、定着できるようサポートしていく。 職員の資質向上のため、研修の実施を通して人材育成に努める。
	実施状況	虹の里八開の生活支援員がグループホームの世話人・生活支援員を兼務していることもあり、利用者の状況については共有することができているが、ホーム専属の職員が十分に確保できず、引き続きの課題となっている。 職員研修については、虹の里八開の施設内研修に参加している。
利用者支援	年度方針	職員の支援や言動を倫理綱領や職員行動規範に照らし合わせ、不適切な支援を行っていないか確認をしていく。また、支援会議や申し送り等の機会に利用者への対応の振り返りができるよう努める。個別支援計画の作成にあたり、利用者一人ひとりの意志や人格を尊重し、利用者の立場になって考える。
	実施状況	職員の人権意識の向上については、職員間の話し合いや申し送り等により、支援の見直しが図られている。まだ充分とはいえない、引き続きの検討が必要である。 個別支援計画については、要望及び意向を確認し、半年に1回、個別支援計画を作成した。サービス管理責任者・生活支援員によるモニタリングも行い、サービスの向上に努めた。

[入居者の障害支援区分]

令和5年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男					1	3	4
女						2	2
計					1	5	6

[生活支援の状況]

- ・食事やトイレ、着替えといった場面では、利用者一人ひとりの状況を把握し、ひとりでできる部分はできる限り自分で行ってもらえるよう促し、生活動作の維持に努めた。
- ・常時、男女1名ずつ職員を配置し、同性介助を徹底した。
- ・余暇時間は個々の過ごし方を尊重し、安全に過ごせるよう見守りを行った。また、余暇を楽しんで過ごしていただけるよう、季節を感じられる行事やレクリエーション、夕食のテイクアウトなどを定期的に企画した。
- ・夜間は2名の夜勤者で連携の上、1時間毎に巡回を行い、利用者の状態が把握できるように努めた。
- ・家族との情報交換については、懇談会での話し合いや連絡帳を確認することで、利用者の状況や要望、意見などの把握に努めた。

[健康管理の実施状況]

- ・毎朝起床後と夕方に体温・血圧・脈拍の測定を看護師により行い、入居者の健康状態の把握に努めた。体調不良時には、保護者に連絡し対応を相談し対応した。
- ・排泄については、排泄記録を付け確認することで把握し、職員や保護者に連絡した。

◇短期入所事業 定員 2名

実施状況 随時受け入れをした。
令和4年4月～令和5年3月までの1年間で9名が利用。
延日数は126日であった。

◇日中一時支援事業 定員 空床型

実施状況 随時受け入れをした。
令和4年4月～令和5年3月までの1年間で3名が利用。
延日数は71日であった。